

9月1日（火）第2学期始業式 校長講話

待ち遠しかった夏休みもあっという間に終わり、今日から9月、2学期が始まりました。言い古されたことかもしれませんが、小学校の頃から何度も聞かされたことかもしれませんが、学校には、3つの学期、1学期、2学期、3学期があります。そして、この2学期は、3つの学期の中で一番長い学期です。一番長いと言うことは、その中でたくさんのことを身に付けることができるということです。違った角度から言えば、そこでちょっと気を抜くと、大きな差がついてしまう。そんな学期が2学期です。

さて、みなさんはこの2学期をどう過ごしますか。

1学期、特に1年生は訳も分からずがむしゃらに走ってきたと思います。2学期は、そこで身に付けたさまざまなことを基礎として自分の力を上乗せして行って下さい。

2年生の皆さんは、いよいよ部活動でも中心的な存在になってきます。生徒会もバトンタッチされますし、学年の大きな行事である平和学習の広島研修も2学期に予定されています。自分たちがその中でどう考え行動するのか、大切な学期と言えると思います。

そして3年生。朝、東の交差点であいさつをして、校門の前で立っていると、いつも見る3年生の顔ぶれが、心なしか少なかったように思います。朝練がなくなって、時間的にはゆったりするかもしれませんが、その時間をどんな風にするのか、そしてその先にどういう自分の進路というものを見据えるのか、選択するのか、そのため時間です。1分たりとも無駄にするのはもったいないと思います。そして、当面は、学校祭のリーダーとして、もう一度、部活動と同じように1・2年生を引っ張って行って欲しいと思います。お願いします。そして、先日の出校日にもお願いしたように、今日、こうしてみんなの元気な顔が集まってくれました。それが大変嬉しく思います。

ちょっと肩の力を抜いてもらって、隣の人顔を見て下さい。当たり前のように、見慣れた顔がそこにあります。朝、教室に入ったら、いつものように、「おはよう」「おっす」といったあいさつを交わしたと思います。当たり前が毎日続くように、当たり前が当たり前のように弥富中学校で繰り広げられるような、そんな2学期にしていきたいと思います。是非、皆さんの毎日のいい顔をこの2学期も見せて下さい。お願いします。